

事業名：男女共同参画啓発事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	06 市民協働によるまちづくり								
施策	02 男女共同参画社会の形成								
基本事業	01 男女平等意識の確立								
開始年度	平成14年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・市職員 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
講演会やセミナーの開催および、出前講座等によって男女共同参画に関する情報提供と意識啓発を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
男女共同参画の重要性を認識し、男女共同参画の視点にたった行動や社会参画をしてもらうこと。									

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2	市職員数	人	1,115	1,133	1,143	1,143
活動指標1	講演会・セミナー開催件数	件	3	3	3	3
活動指標2	出前講座開催件数	件	0	0	1	1
成果指標1	男女共同参画について理解したと思う割合	%	84	80	82	—
成果指標2	講演会・セミナー等参加者数	人	198	268	219	150
事業費(A)		千円	923	706	1,197	664
正職員人件費(B)		千円	10,033	4,008	7,813	1,956
総事業費(A+B)		千円	10,956	4,714	9,010	2,620

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発講演会等の開催 ・デートDV防止啓発リーフレットの作成、配布（4大学新入生等） ・審議会等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等開催経費 373千円 ・デートDV防止啓発リーフレットの作成経費 82千円 ・審議会開催経費 353千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
平成11年6月、「男女共同参画社会基本法」が制定される等、社会情勢の変化によって生じる新たな課題や、引き続き取り組むべき課題に対応するため計画の策定が必要になったことから、江別市男女共同参画プラン策定委員会の意見や提言を受け、基本計画を策定したものである。	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会基本法の成立、施行(H11) ・北海道男女平等参画推進条例制定(H13) ・男女雇用機会均等法改正(H18) ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(H13、一部H14施行)改正(H20) ・江別市男女共同参画を推進するための条例制定(H21.3月制定、4月施行) ・江別市男女共同参画基本計画(2009年改訂版)策定(H21.3月) ・第3次男女共同参画基本計画閣議決定(H22.12月) ・江別市男女共同参画基本計画策定(H26.3月) 	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由根拠 男女共同参画社会基本法第9条では「地方公共団体は、基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成の促進に関し、国の施策に準じた施策及びその他のその地方公共団体の区域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」こととされている。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由根拠 講演会やセミナー等での啓発により、家庭・地域・職場の固定的性別役割分担意識の解消と女性の積極的な社会参加を促し、「男女平等意識の確立」へと繋がることから貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由根拠 講演会やセミナーの開催にあたっては、民間団体である「江別市男女共同参画推進連絡協議会」と、企画の段階から協働し開催している。これにより、協議会を通して事業の周知や、参加者の広がりにつながっているものと考えている。 また、条例や基本計画の理念についても、パンフレットやHP等での啓発を続けており、少しずつではあるが、成果があがっていると判断している。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由根拠 社会慣習や慣行の中にある、性別による固定的役割分担意識を変えるのは容易ではなく、男女共同参画に未だ関心の低い層が一定程度残っていることから、そこに集中的に働きかけることで、さらに成果が上がる余地はある。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠 講演会やセミナーの開催にあたっては、既に外部機関の補助金を活用するなどコスト削減を進めてきたことから、これ以上の削減は事業の縮小、成果の低下につながる。